

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月9日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	25,332	△24.4	1,084	△64.8	1,588	△56.0	1,407	△35.5
2020年3月期第2四半期	33,493	12.5	3,077	△5.3	3,606	△4.8	2,183	△24.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,863百万円(203.8%) 2020年3月期第2四半期 942百万円(△15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.01	22.80
2020年3月期第2四半期	26.93	25.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	292,256	268,035	91.1
2020年3月期	325,232	269,521	82.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 266,267百万円 2020年3月期 267,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
2021年3月期	—	75.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	△6.3	8,000	△36.3	8,700	△35.4	6,200	△52.5	101.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	69,597,500株	2020年3月期	69,597,500株
2021年3月期2Q	8,412,290株	2020年3月期	8,427,105株
2021年3月期2Q	61,178,850株	2020年3月期2Q	81,066,076株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が全面解除されて以降、経済活動が再開しつつあるものの、本格回復には相当な時間を要するものと考えられ、依然先行き不透明な状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界では、パーラーにおきましては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底することで安心・安全な遊技環境の実現に努めており、緊急事態宣言が解除された5月を底として、稼働状況は回復傾向にあり、これに伴いパーラーの新機種購買意欲は上向きの兆しを見せております。こうした中、パチンコにつきましては、「技術上の規格解釈基準」が変更されたことにより、これまででないゲーム性を有した、いわゆる新解釈基準機の導入が本格化しており、それらに対するファン・パーラーの期待の高まりが見られることや、業界団体で定められた撤去期限に沿った旧規則機の計画的な入替が進められることから、年末に向けて月別の販売台数は前年並みの水準まで回復することを見込んでおります。一方、パチスロにつきましては、型式試験の適合率が依然として低水準で推移しており、新機種の供給が不十分な状況となっております。

当社グループでは、当第2四半期連結累計期間におきまして、パチンコ機2タイトル（リユース機を除く）、パチスロ機1タイトルを発売いたしました。コロナ禍によるパーラーの新機種購買意欲を見極めたうえで販売タイトル数を絞ったことから、例年に比べタイトル数は減少いたしました。4月に発売した「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア2」が追加受注をいただくヒットとなり、業績を牽引いたしました。第3四半期以降につきましては、今後、本格化する入替需要に対応すべく、10月に投入した「フィーバークイーンII」を皮切りに、その他パチンコ新機種5タイトルを発表しており、受注状況は順調に推移しております。

以上の結果、売上高253億円（前年同四半期比24.4%減）、営業利益10億円（同64.8%減）、経常利益15億円（同56.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億円（同35.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高223億円（前年同四半期比17.9%減）、営業利益47億円（同15.3%減）、販売台数47千台（前年同四半期は67千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア2」（2020年4月）、「フィーバー真花月2 夜桜バージョン」（2020年4月）の2タイトルであります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高15億円（前年同四半期比50.0%減）、営業損失13億円（前年同四半期は7百万円の営業利益）、販売台数は3千台（前年同四半期は7千台）となりました。

販売タイトルは、Bistyブランドの「シャア専用パチスロ 逆襲の赤い彗星」（2020年8月）の1タイトルであります。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高13億円（前年同四半期比53.8%減）、営業損失56百万円（前年同四半期は1億円の営業利益）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高1億円（前年同四半期比64.0%減）、営業利益15百万円（前年同四半期は1億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,922億円であり、前連結会計年度末と比べ329億円減少しました。これは主に、現金及び預金が158億円、受取手形及び売掛金が92億円、有価証券が49億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」を含む）が19億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は242億円であり、前連結会計年度末と比べ314億円減少しました。これは主に、1年内償還予定の新株予約権付社債が200億円、支払手形及び買掛金が61億円、電子記録債務が45億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ14億円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が14億円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益を14億円計上した一方、配当金の支払い45億円によるものであります。この結果、純資産は2,680億円となり、自己資本比率は8.7ポイント増加し、91.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,847	107,032
受取手形及び売掛金	16,743	7,521
有価証券	119,999	114,999
商品及び製品	2,060	2,374
仕掛品	21	80
原材料及び貯蔵品	3,701	3,668
その他	10,669	7,459
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	276,041	243,135
固定資産		
有形固定資産	27,244	26,757
無形固定資産		
その他	142	120
無形固定資産合計	142	120
投資その他の資産		
投資有価証券	13,035	13,982
その他	8,785	8,276
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	21,803	22,242
固定資産合計	49,190	49,121
資産合計	325,232	292,256
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,789	7,679
電子記録債務	7,637	3,129
1年内償還予定の新株予約権付社債	20,006	—
未払法人税等	1,043	299
賞与引当金	765	951
株主優待引当金	101	101
その他	3,880	3,492
流動負債合計	47,224	15,652
固定負債		
退職給付に係る負債	4,962	5,067
資産除去債務	75	75
その他	3,448	3,425
固定負債合計	8,486	8,568
負債合計	55,711	24,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	257,575	254,385
自己株式	△31,822	△31,766
株主資本合計	264,343	261,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,549	5,012
退職給付に係る調整累計額	53	45
その他の包括利益累計額合計	3,603	5,058
新株予約権	1,574	1,767
純資産合計	269,521	268,035
負債純資産合計	325,232	292,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	33,493	25,332
売上原価	15,771	12,788
売上総利益	17,722	12,544
販売費及び一般管理費	14,644	11,459
営業利益	3,077	1,084
営業外収益		
受取利息	94	65
受取配当金	353	334
その他	94	114
営業外収益合計	542	515
営業外費用		
投資事業組合運用損	11	5
その他	2	5
営業外費用合計	13	11
経常利益	3,606	1,588
特別利益		
投資有価証券売却益	66	290
特別利益合計	66	290
特別損失		
固定資産売却損	8	—
固定資産廃棄損	34	4
投資有価証券売却損	100	—
関係会社株式売却損	—	16
特別損失合計	142	20
税金等調整前四半期純利益	3,530	1,857
法人税、住民税及び事業税	581	403
法人税等調整額	765	45
法人税等合計	1,347	449
四半期純利益	2,183	1,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,183	1,407

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,183	1,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,235	1,463
退職給付に係る調整額	△5	△7
その他の包括利益合計	△1,240	1,455
四半期包括利益	942	2,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	942	2,863
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,530	1,857
減価償却費	1,493	1,014
のれん償却額	43	—
株式報酬費用	242	233
引当金の増減額 (△は減少)	157	183
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	98	93
受取利息及び受取配当金	△448	△400
売上債権の増減額 (△は増加)	9,940	9,222
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△403	△339
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,600	△10,356
その他	△813	852
小計	5,240	2,360
利息及び配当金の受取額	340	317
法人税等の支払額	△4,032	△1,001
法人税等の還付額	48	1,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,596	3,194
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,552	△5,553
定期預金の払戻による収入	5,551	5,552
有価証券の取得による支出	△40,000	△40,000
有価証券の償還による収入	40,000	75,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,293	△539
投資有価証券の売却による収入	363	1,305
関係会社株式の売却による収入	—	130
貸付けによる支出	—	△330
貸付金の回収による収入	11	13
その他	△35	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△953	35,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	—
新株予約権付社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	△68,543	△0
配当金の支払額	△6,088	△4,587
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,633	△24,588
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△73,989	14,184
現金及び現金同等物の期首残高	274,295	192,294
現金及び現金同等物の四半期末残高	200,305	206,478

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,278	3,029	2,829	33,137	355	33,493	—	33,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	27,278	3,029	2,829	33,137	355	33,493	—	33,493
セグメント利益 又は損失(△)	5,594	7	150	5,753	△132	5,620	△2,542	3,077

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,384	1,513	1,306	25,204	127	25,332	—	25,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	22,384	1,513	1,306	25,204	127	25,332	—	25,332
セグメント利益 又は損失(△)	4,737	△1,319	△56	3,361	15	3,377	△2,292	1,084

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。